

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 1月 28日

事業所名 児童デイサービス すだっち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	4	・収納棚を確保し活動場所を広げた。 ・野外活動を多く取り入れ、ストレスの軽減を図っている。	・活動スペースが1階と2階に分かれているため、目が届きにくくなる心配があるが、常時職員を配置し、安全を図っている。
	2	職員の配置数は適切である	7	2	・県の基準以上の職員を配置している。	・地域の学校への同時送迎時に職員配置数が少なく感じる場合がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	4	・階段とトイレに手すりを設置した。 ・外スロープを設置し、車椅子対応にしている。	・階段の昇降時に職員が付き添うなど、安全に配慮している。 ・車の乗降り時に、ステップを活用し、安全に配慮する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2		・毎朝夕に職員による小ミーティングと毎月1回の全体会議を実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3	・保護者向けアンケートは実施済み、改善を心がけている。	・より多くの保護者の意向を把握するため、玄関に目安箱を設置した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	7	・事業所単体のホームページ作成中。	・本部のホームページに掲載予定。会報は、配布できるように配慮する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	7		・本部の理事会にて協議する。 ・初年度のため未実施だが、機会があれば積極的に実施していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0		・周南圏域や県主催の研修に定期的に参加している。 ・研修の報告書の作成と回覧で情報の共有に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	・他の事業所の情報も統合し、作成している。	・個人面談の実施。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	6		・ツールは未使用だが、個々の特性を把握する努力はしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	・担当職員が立案し、全職員で協議している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2		・活動終了後、全職員で振り返り今後の活動にどう活かしていくか、職員で検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	・学校休業日に調理実習等を定期的に行っている。	・平日と休業日、長期休暇でサービスの形態を変えて対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		・個々の状況に応じた計画を作成し取り組んでいるが、今後も、児童の成功体験を重視し、自発的に活動に参加し、学べる環境が提供できるよう努める。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0		・毎朝、職員による小ミーティングを実施し、当日の打ち合わせを行い、情報を共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0		・毎夕、打ち合わせ、振り返りの結果を毎日記録し、全職員が情報を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		・支援計画を元に、担当児童の個別記録を記入し振り返りを行い、支援の検証、改善につなげている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0		・保護者との個人面談や相談支援専門員の意見を取り入れ、情報を共有している。また、6ヶ月に1回、全職員で評価し、支援の見直しや検討をしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	2		・自立支援、創作活動、地域活動、余暇などの支援を集団・個別に行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	2	・管理者等が参加し、情報や意見交換を行い、その後、会議内容を全職員に報告している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	・学校訪問(授業参観)、行事の参加。 ・当事業所の見学(学校教諭) ・学校訪問(授業参観への参加)、行事の参加。 ・学校教諭による当事業所への見学。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	4	・てんかん発作がある利用者には、保護者より聞き取りをし対処している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	4		・支援計画の共有が主で、全員については行っていないが、今後、必要があれば努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	6		・該当者はいないが、今後の課題であり、必要に応じて訪問、伝達などの連携を図っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5		未実施だが、後は研修会等へ参加し、助言の受け入れや研修を受けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	5		・地域のイベント等に参加し、より多くの交流が図れるように努める。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	4		・行政が設置する協議会への参加を検討している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1		・連絡帳の活用や送迎時に保護者との連絡を密にしたり、自宅の様子を保護者から伺ったりしながら、情報の共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6		・必要に応じて個別に行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1	・管理者等が見学時に支援内容の説明を行い、契約時に重要事項・契約書の説明を行っている。	・今後は、職員も説明ができるように努める。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	・送迎時の際などに保護者より気になる点を伺っている。	・必要に応じて個別に行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	・行事に参加した保護者との連携や共感が持たれた。	・平成31年2月19日に保護者会を開催する予定だが、今後も、活動を増やし保護者間の連携を図っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	・事業所内に目安箱を設置した。	・目安箱や個別の意見を元に体制を整備し、対応していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	・毎月「すだっち通信」を早めに配布するほか、必要に応じて随時発行し、保護者の予定が立てやすいようにしている。	・今後はホームページやWEB媒体を活用し情報発信に努めたい。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	・情報ファイルは鍵付きの保管庫にて管理している。	・保護者とは契約時に個人情報の取り扱いについて確認し、職員には個人情報の取り扱いに関する誓約書を交わし対応している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	・子どもには、分かり易い声掛けや情報の視覚化等を心掛け、保護者には送迎時や連絡帳で日々の様子を伝えている。	・取り組みはしているが不十分などところもあるため、研修等に参加し、知識を深めたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	0	・光市で開催したサンアビふれあい祭りに参加。	・直接的な参加はないが、事業所については理解し受け入れてくれている。

7	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	・開所時に左記のマニュアルは作成している。	・今後は保護者にも内容について周知、徹底を促していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	・定期的実施。	・平成30年9月22日に消防訓練、11月17日にシェイクアウト訓練を実施し、平成31年3月16日には、光市防災センターにて「地震・煙避難VR体験」を実施予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		・事業所内会議で定期的に事例検討会を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	・必要であれば、契約時に書面にて確認し、承諾を得ている。	・保護者の同意の上、車椅子上での座位保持と転落防止のための脱着ベルトを使用している。(送迎車⇄事業所・自宅)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	・弁当や調理実施の際に配慮している。	・保護者の申請に基づいて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0		・事業所内会議でヒヤリハットの書き出しと対応を共有している。